

蘇州河クルーズの旅

観光の新定番!?

昨年12月から運行を開始した蘇州河クルーズ。新しい観光スポットとなり得るか? 走行ルートや乗り心地をリサーチしました。

コースと乗り方

コースは全部で7種類

昌化路～長風公園ルート



コース

- 昌化長風線 (60分)
- 長風昌化線 (60分)
- 昌化路西環線 (30分)
- 長風公園環線 (30分)

昌化路～外灘源ルート



コース

- 昌化路環線 (60分)
- 外灘源環線 (60分)
- 四行倉庫環線 (30分)

チケット購入方法



ミニプログラム「悠遊蘇州河」

チケットはミニプログラム「悠遊蘇州河」から購入できる。乗船は要事前予約・予約は2日後のチケットまでしか開放されていないので気を付けて。

料金 大人100、60円 7～14歳50、30円 0～6歳は大人1人につき2人まで無料

客船はこの2タイプ



上海印象号

幌付きで通気性がよい、11人乗りの小型船。レトカーのような見た目がかわいい。

時空之梭号

全面をガラスルーフに覆われた20人乗りの電動船。夜は虹色にライトアップされる。



予約困難の人気クルーズ

昨年末から運行を開始した蘇州河クルーズ。歴史的建築物の多い蘇州河沿いをゆったりと船で楽しむ観光は、チケット予約が難しいほどの人気ぶりだ。

チケットはミニプログラム「悠遊蘇州河」にて事前購入する。パスポートでも登録可だが、ミニプログラム上では2日後までのチケット予約しか受け付けてない。船の搭乗人数が11～20人と少ないので、予約がすぐ埋まってしまふ。特に休日のチケットは、毎朝10時の予約開始と同時に押さえた方がいいだろう。

蘇州河を走る船は、「時空之梭号」と「上海印象号」の2タイプ。「時空之梭号」は船内に大きな液晶パネルを備え、近代感あるデザインだ。幌付きの「上海印象号」は開放感たっぷり、外の風を楽しめる。ただし冬の間はミニールカバーが付けられているので、あまり風景が見えないかも。

観光向けの東側、ニッチな西側

クルーズは約60分と約30分のコースがあり、ルートは大きくわけて外灘から昌化路までと、昌化路から長風公園に分けられる。上海らしい景色や夜景を楽しむなら、外灘から昌化路までのコースがオススメだ。いつも黄浦江側から見ている外灘や浦東新区の違った一面を覗ける。

昌化路から西側は比較的住宅街が多く、ゆったりとした時間が流れる。ちよとニッチな歴史的建築物や橋が多く、歴史好きや、観光向けではない上海の姿を見たいという人にオススメ。ミニプログラムでは地図付きでルートを詳しく紹介しているので、事前にしたい建築物をピックアップしたうえで、その建築物がある側の席を確保すると、クルーズがより楽しくなるはず。

いざ乗船!

昌化路～長風公園60分の旅

乗船は出発15分前から



福信第三麵粉廠旧址



時空之梭号



中央造幣廠旧址



先頭のパネルで観光案内

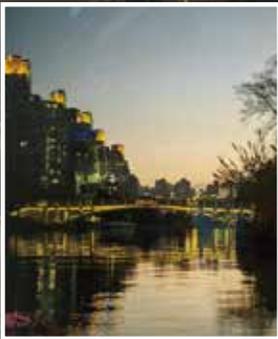


ロマンチックな夕暮れ

オマケのグッズ!



長風公園に到着!



何本もの橋をぐり抜ける

意外と見えない建築物

では実際に乗船してみよう。今回選んだのは、昌化路乗り場から長風公園まで、クルーズの中では最長距離クラスの60分コース。乗船は出発時刻の15分前から、ミニプログラム上のQRコードをスキャンして乗り込む。

今回は全面ガラス張りの「時空之梭号」に乗船。キレイな船内で各座席にはミニテーブルと、ミネラルウォーター付き。乗り込んだ人から好きな場所に着席していくスタイルだ。

運転手のあいさつの後、いよいよ出発。電動船のため振動や音が少なく、乗り心地快適。先頭にある大きなパネルで、蘇州河や歴史的建築物の紹介を放映する。

乗り込んでみて感じたのが、視点が意外と低いこと。外灘クルーズは視点が高いので視野が広く、周りが見渡せるが、この船では水面が近く視界はあまりよくない。目的の歴史的建造物も見えたとしたらサッと通り過ぎてしまうのでちよと寂しい。高い塀で半分ほどしか見えない建築物も多い。

子どもは30分で十分

この日は平日だからか、乗客の半分がちびっ子だ。最初はワクワクしていた子どもたちが、30分も過ぎると、スマホを見たり、居眠りしたりする子がチラホラ。乗客のおじさん2人は「静かゆつたりとしたいい時間だが、子どもらには退屈かもな...」とボソリ。17時10分発、暮れゆく街並みを静かに進む船旅は二種独特の情緒があるが、ちびっ子に60分は長いかも...

日が暮れると、橋やビルライトアップが美しい。長風公園乗り場に到着したら、香り付きプレートが配られて終了だ。ちよと地味だったが味わいのある船旅一度試してみたいか?